

国際政治経済論

—グローバル化する国際社会における様々な課題と対応策—

担当者:小尾 美千代

研究室:Q6001

1. プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

国際政治経済学は国際社会における政治(国家)と経済(市場)の相互作用の解明に焦点を当てた国際政治学の一分野です。本プロジェクト研究では、学科科目の「国際政治経済論」で扱っている、国際貿易、金融、開発、環境、経済安全保障などのグローバルな課題について、その実態と問題解決のための国際的な対応策を中心に学修します。文献講読や事例研究を通して、専門知識の習得や実態把握だけでなく、論理的思考力や国際的な諸問題に対する多元的な分析視角を身につけていきます。また、授業での報告を通じてプレゼンテーション・スキルの向上も目指します。なお、卒業研究は個人研究となりますので、それぞれの関心に応じたテーマを設定し、調査・分析を進めていきます。

2. プロジェクト研究の進め方

【3年次】 ※Q2にゼミはありませんので、留学や海外インターンシップなど、有効に活用してください。

◆1Q(「総合演習 A」と合わせて週2回授業):様々な国際問題について、文献講読と実態に関する報告(事例報告)を中心に授業を行います。文献やトピックは受講生と相談して決定します。

※文献の例:

イアン・ブレマー『自由市場の終焉:国家資本主義とどう闘うか』日本経済新聞出版社、2011年。

佐藤史郎、他編『日本外交の論点』法律文化社、2018年。

防衛大学校安全保障学研究会編『新訂第5版 安全保障学入門』亜紀書房、2018年。

高柳彰夫、他編『SDGsを学ぶ:国際開発・国際協力入門』法律文化社、2018年。

◆3Q・4Q:共通の研究テーマを選定し、研究計画を立てて、調査・研究・報告を行います。

※これまでの研究テーマ

半導体をめぐる国際競争と米中経済摩擦／新疆綿の取引規制問題と日本の対応／世界3大感染症(HIV/AIDS、結核、マラリア)対策／中国の「一帯一路」政策と途上国の対中依存:長期租借権問題を中心にベーシックインカム／テロ対策／米中貿易摩擦はなぜ発生したのか

【4年次】 卒業研究(個人研究)

◆1Q:研究テーマに関する先行研究を踏まえて、研究上の問い(リサーチ・クエスチョン)を設定。

◆2Q:リサーチ・クエスチョンに関する先行研究の継続と調査。研究概要の作成。

◆3Q:夏期休業中の作業も含めて卒業研究の完成。

◆4Q:卒業論文の執筆。

3. プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

あらかじめ「国際関係論」と「国際政治経済論」を履修していることが望ましい。未履修の場合は、「国際関係論」については本年度中に、「国際政治経済論」は次年度(2024年度)に必ず履修してください。

このプロジェクト研究の履修者は、3年次 Q1開講の「総合演習 A」(担当:小尾)を履修する必要があります。(やむを得ない理由で履修が難しい場合には相談してください。)

コース選択については、「国際政策コース」の履修が望ましい。

4. プロジェクト研究開始までの準備

- ・社会に目を向けて、国際情勢に関するニュースを毎日カバーし、「アンテナ」を広げてください。
- ・広瀬、他編『よくわかる国際政治』(ミネルヴァ書房)を講読しておいてください。(※本書は「国際関係論」のテキストですが、授業で扱わなかった章も含めて1冊すべてを講読してください。)

5. その他

(1) 大学とは自らの探求心や好奇心に基づいて「学問」をする場です。本プロジェクトに参加する皆さんには、様々な国際問題について自ら「学び」、問題の核心や対応策などに関する「問い」を通じて、これらの問題を体系的にとらえる視座を習得して頂きたいと思っています。そのため、教員など周囲から与えられることを期待するのではなく、自ら主体的に国際問題について探求していく意志を持つ方の履修を期待します。

(2) これまでの卒業研究のテーマ(一部)

- ・孤独・孤立対策: 日本とイギリスの比較研究
- ・日本の移民・難民政策
- ・アメリカの警察と黒人差別
- ・子どもの貧困対策: 日本とイギリスの比較研究
- ・米中対立と国際秩序
- ・市場統合とナショナリズムの関係
- ・イギリスの EU 離脱
- ・日本におけるソーシャル・ビジネス
- ・ミャンマーの民主化と国際支援
- ・慢性的飢餓に対する国際社会の取り組み
- ・電気自動車の普及におけるスマートグリッドの役割
- ・アジアインフラ投資銀行
- ・オランダの教育政策
- ・国際捕鯨委員会と商業捕鯨: 日本、アイスランド、ノルウェーの捕鯨政策の比較分析
- ・日台漁業問題

(3) 志望理由書には、志望理由に加えて、以下の点についても記述してください。

- ・現段階で取り組みたいと思っている研究テーマ(あるいは関心のある問題)とその理由。(※このプロジェクト研究のテーマに沿ったものを挙げてください。)
- ・なぜそのテーマに関心を持つに至ったのか。これまでの大学での授業やキャンパス内外での活動・体験などとの関連性を中心に説明してください。
- ・現段階での留学および卒業後の進路の予定。
- ・どのようなゼミにしたいか。そのために自分が貢献できることは何か。プロジェクト研究への抱負。

6. 選考方法

志望理由書、面接、成績に基づいて選考します。面接では、志望履修書の記載事項を中心に、志望する研究内容とこのゼミでできること(ゼミ担当者の専門分野)の適合性、国際問題への関心や研究に対する熱意(やる気)、などについて確認します。成績については、「国際関係論」や「国際政治経済論」など国際政策系科目の評価を適宜参考にします。また、原則として第1次選考以降の選考も含めて、プロジェクト・アワーへの参加を応募条件としますので留意してください。